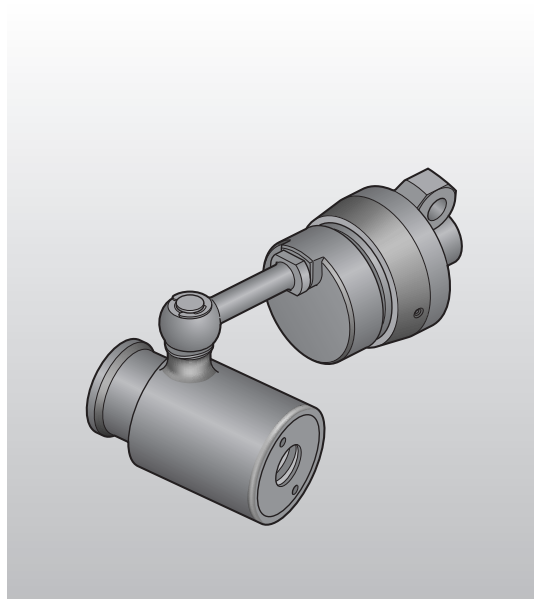


取扱説明書 ノックアウトパンチ

品番 EZ9X303



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。

もくじ

安全上のご注意.....	2～5
各部のなまえ.....	6～7
・付属品・別売品.....	7

準備.....	8～10
・作業前の点検確認.....	8
・工具組み立て方法.....	9～10
作業.....	11～13
・電池パックの取り付け.....	11
・打ち抜き作業方法.....	12～13

能力・仕様.....	14
------------	----




ご使用前に

使いかた



お知らせ



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。




■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。




 危険	
 禁止	●能力を超えた打ち抜きはしない。 破損などにより、けがをすることがあります。
	●充電工具本体と本製品可動部(ピストン等)の間に異物などを挟まない。 本製品や充電工具本体が破損し、けがをすることがあります。
	●作業中は顔や手をパンチカッターに近づけたり、パンチカッターを人のいる方向に向けて使用しない。 パンチカッターやボルトが破損し、けがをすることがあります。
	●他社製工具本体、パンチカッター、ボルト、スリーブなどを取り付け、または組み合わせて使用しない。 破損などにより、けがをすることがあります。
	●本製品を分解または改造したり、電動ポンプにラムシリンダーを直接取り付け使用したりしない。 破損や事故などの原因となります。

 危険	
 禁止	●本製品を火気や高温下等への投入はしない。 破損や事故などの原因となります。
 必ず守る	●充電工具本体の2本の脱着ピンは、確実に差し込む。 守らないとけがをすることがあります。

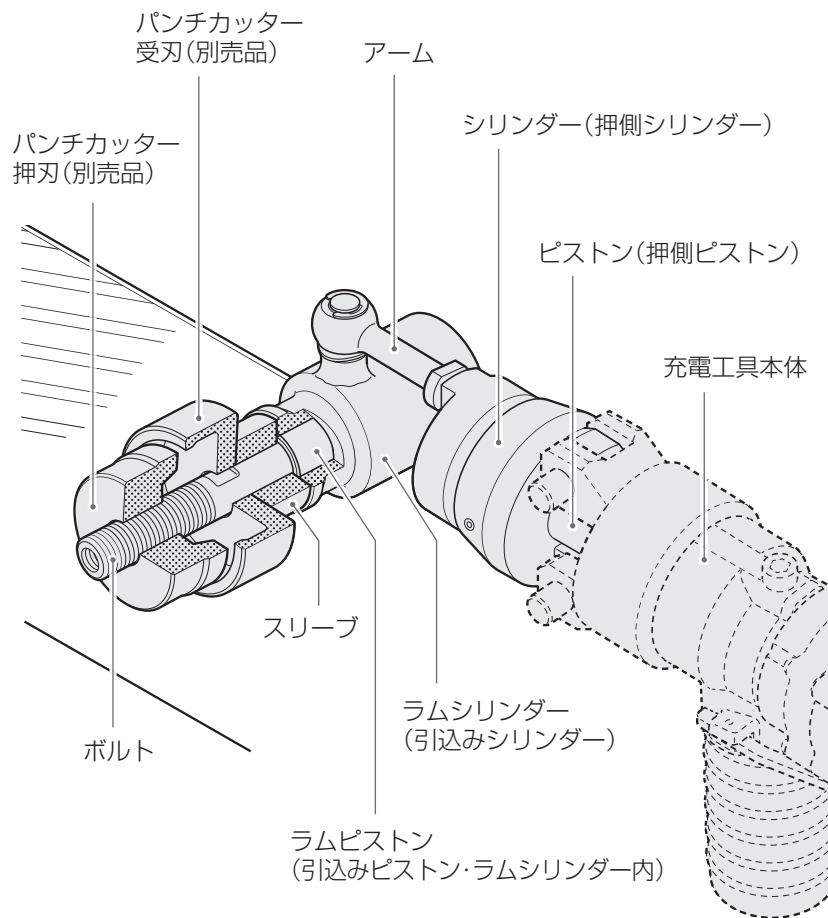
 警告	
 禁止	●打ち抜き部が歪んでいたり、反った鋼板等は打ち抜かない。 けがのおそれがあります。
	●受刃の抜きカスが残ったまま、別の打ち抜きをしない。 けがのおそれがあります。
	●工具組み立て後、押刃の底面からボルトが出ていない状態での打ち抜きはしない。 けがのおそれがあります。
	●パンチカッターに均一に力が加わらない片抜き、重ね抜き等の打ち抜きはしない。 パンチカッターやボルト、スリーブが変形したり、破損するおそれがあります。
	●異常のあるボルトは使用しない。 傷ついたボルトや曲がったボルトはパンチカッター同士が接触したり、破断して破片が飛び散り、破損や事故の原因となります。
	●ボルト径に対して、大きすぎる下穴での打ち抜きはしない。 けがのおそれがあります。
	●打ち抜いた鋼板や抜きカス等は鋭利な状態ですので、素手で触らない。 持ち運びや施工作业など、必要な場合は養生してください。

 警告	
 禁止	● 本体を充電工具本体に装着したまま、移動をしない。 不意なスイッチ操作により、モータが作動し思わぬけがや事故の原因となります。
	● ケース内に充電工具本体や付属品、パンチカッター以外の物は入れない。 不意に留め金具がはずれたり、ケースが破損したりするなど事故の原因となります。
	● 用途以外に使用しない。 けがのおそれがあります。
 必ず守る	● 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。 本体が落下してけがをするおそれがあります。
	● ボルトはラムシリンダーに完全にねじ込む。 守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
	● 使用前に、充電工具本体、本製品、その他の部品に損傷(傷、割れ、著しいサビなど)がなく正常に作動することを確認する。 守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。 異常が認められた場合は、直ちに交換してください。

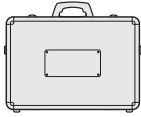
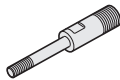
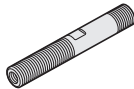



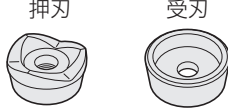
 注意	
 禁止	● 空押しや、無負荷での加圧はしない。 製品の破損や不具合のおそれがあります。
	● 打ち抜き作業中は工具を大きく動かしたり、向きを変えたりしない。 けがのおそれがあります。
	● 打ち抜き作業中に離れたり、パンチカッターをはずしたりしない。 けがのおそれがあります。

 注意	
 禁止	● 本製品を乱暴に扱ったり、落としたり、ぶつかけたりしない。 破損や故障の原因となります。取り扱いには十分に注意をお願いします。
	● パンチカッター、ボルト、スリーブは始業時必ず点検する。 守らないとけがをするおそれがあります。
 必ず守る	● パンチカッターとボルト、スリーブの組み合わせは組み合わせ表にしたがって使用する。 守らないとけがをするおそれがあります。
	● 押刃は鋼板に当たるまでねじ込む。 守らないとけがをするおそれがあります。
	● 打ち抜き作業中は打ち抜き部(押刃)から目を離さないようにする。 やむを得ず目視できない場合は2人で声掛けなどをして作業を行ってください。
	● 打ち抜きが完了したらすぐに充電工具本体のスイッチをはなす。 ボルトが破損する場合があります、けがをするおそれがあります。 (厚鋼電線管用パンチカッター82以下、薄鋼電線管用パンチカッター全種にて、フルストローク時に製品構造上、押刃、受刃同士が干渉する可能性があります)
	● 打ち抜き作業後は、すみやかに受刃の抜きカスを除去する。 守らないとけがをするおそれがあります。
	● シリンダー内やネジ部、回転部、ピストン摺動面に、ごみや異物が入らないようにする。 守らないとけがをするおそれがあります。
● 打ち抜き穴にバリが出るようになったらパンチカッターの寿命なので交換する。 守らないとけがをするおそれがあります。	

各部のなまえ



付属品・別売品

商品	付属品	別売品の有無
アルミケース 	○	○ EZ9673
ボルト (3/8×3/4) 	○	○ EZ9X303L7101
ボルト (3/4) 	○	○ EZ9X303L7201
スリーブ (S) 	○	○ EZ9X303M7101
スリーブ (SS) 	○	○ EZ9X303M7201
薄鋼電線管用 パンチカッター 押刃 受刃 	—	○ パンチカッター-15 EZ9X330 パンチカッター-19 EZ9X331 パンチカッター-25 EZ9X332 パンチカッター-31 EZ9X333 パンチカッター-39 EZ9X334 パンチカッター-51 EZ9X335 パンチカッター-63 EZ9X336 パンチカッター-75 EZ9X337
厚鋼電線管用 パンチカッター 押刃 受刃 	—	○ パンチカッター-16 EZ9X338 パンチカッター-22 EZ9X339 パンチカッター-28 EZ9X340 パンチカッター-36 EZ9X341 パンチカッター-42 EZ9X342 パンチカッター-54 EZ9X343 パンチカッター-70 EZ9X344 パンチカッター-82 EZ9X345 パンチカッター-92 EZ9X346 パンチカッター-104 EZ9X347

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

作業前の点検確認

次の部位を点検、確認してください。

- ① 押刃・受刃の刃先に、大きな傷や破損、極度の摩耗がないか？
- ② ボルトが曲がったり、ネジ山の破損がないか？
- ③ 押刃、受刃、ボルト、スリーブの組み合わせは正しいか？
- ④ 脱着ピンは確実に挿入されているか？
- ⑤ 充電工具本体と本製品および、押受刃の中に異物や抜きカスはありますか？
- ⑥ パンチカッターとボルト、スリーブの組み合わせは合っているか？
(以下のパンチカッターとボルト、スリーブ組み合わせ表参照)

パンチカッターとボルト、スリーブ組み合わせ表

薄鋼電線管用(C・E管)		厚鋼電線管用(G管)		下穴径	ボルト	スリーブ	板厚 (mm・軟鋼)
呼び径	実径(Φ)	呼び径	実径(Φ)				
15	17.9			Φ11以上	ボルト (3/8×3/4)	S	3.2 mmまで*
19	20.0						
25	26.3	16	21.9				
		22	27.4	SS+S	S		
31	32.7	28	34.2				
39	39.0	36	42.8				
51	51.70	42	48.7	Φ20以上	ボルト (3/4)	不要	
63	64.40	54	60.5				
75	77.10	70	76.0				
		82	88.8				
		92	102.5				
		104	115.2				

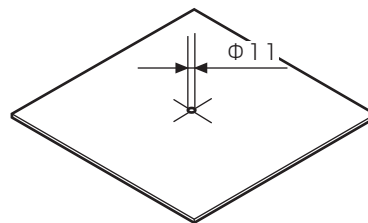
*打ち抜き材はSS400(SPC等)または相当品。SUS材の打ち抜きは1.5 mmまでとなります。

- パンチカッターとボルト、スリーブの組み合わせは必ずお守りください。
誤った組み合わせで使用しますとネジやボルト、製品の破損につながります。
- 充電工具本体の出力が低下すると、打ち抜きができない場合があります。
- パンチカッターが磨耗、損耗していると打ち抜きができない場合があります。

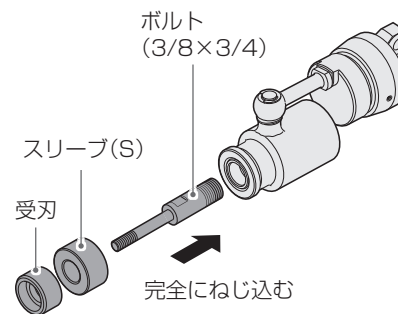
工具組み立て方法

呼び径G16、C19・25の打ち抜き

- 1 打ち抜きする鋼板にケガキ線を入れ、中心にポンチマークを打ち、充電ドリルドライバー等でΦ11の下穴を開ける



- 2 ラムシリンダーにボルト(3/8×3/4)の3/4側を完全にねじ込み、スリーブ(S)、受刃の順に組み付ける

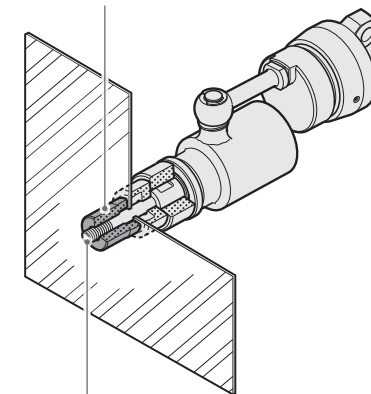


警告

- ボルトはラムシリンダーに完全にねじ込む
守らないと破損などによりけがを
おそれがあります。

- 3 下穴にラムシリンダーにセットされたボルトを挿し込み、突出したネジ先に押刃を鋼板に当たるまでねじ込む

押刃が鋼板に当たるまでねじ込む 組み立て断面図



ネジ先が押刃より出ていることを確認

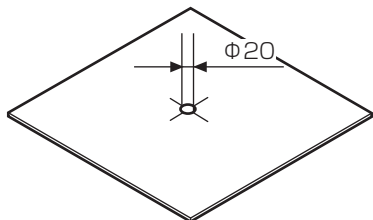
警告

- 押刃の底面からボルトが出ていない状態で打ち抜きをしない
けがのおそれがあります。

準備(つづき)

呼び径G22以上、C31以上の打ち抜き

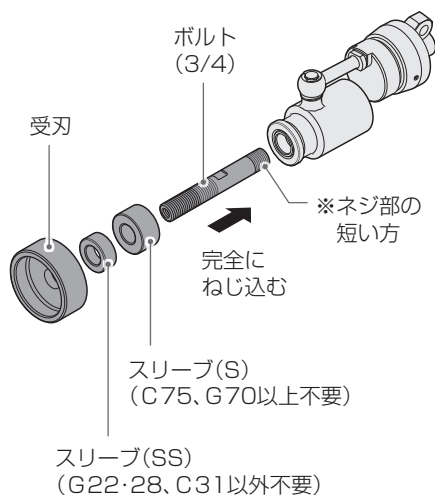
- 1 打ち抜きする鋼板にケガキ線を入れ、中心にポンチマークを打ち、充電ドリルドライバー等でΦ20の下穴を開ける



- 2 ラムシリンダーにボルト(3/4)のネジ部が短い方を完全にねじ込み、スリーブ(S)(SS)(一部不要)、受刃の順に組み付ける

- スリーブと押刃の組み合わせは、「パンチカッターとボルト、スリーブの組み合わせ表」をご参照ください。

P8参照



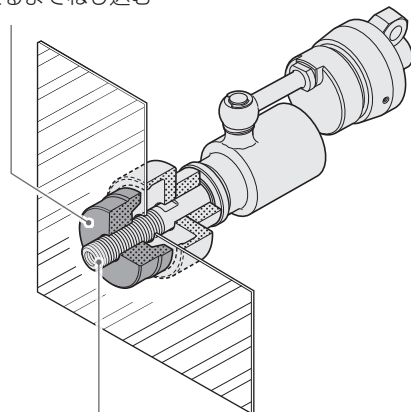
警告

- ボルトはラムシリンダーに完全にねじ込む
守らないと破損などによりけがを
おそれがあります。

- 3 下穴にラムシリンダーにセットされたボルトを挿し込み、突出したネジ先に押刃を鋼板に当てるまでねじ込む

押刃が鋼板に
当てるまでねじ込む

組み立て断面図



ネジ先が押刃より
出ていることを確認

警告

- 押刃の底面からボルトが出ていない
状態で打ち抜きをしない
けがのおそれがあります。

作業

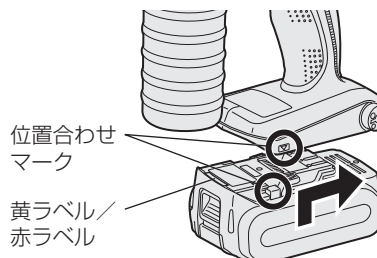
電池パックの取り付け

鋼板に本製品をセットしてから、充電工具本体を接続します。
充電工具本体は、本製品と接続するまえに電池パックを装着してください。

取り付け

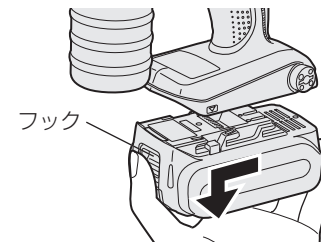
- 1 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

- 黄/赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。

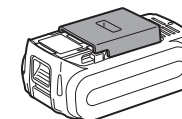


取りはずし

- 1 フックを引きながら電池パックを本体前方にスライドさせて、電池パックをはずす



- 電池パックを本体から取りはずしたら電池端子部分への
ちり・ほこりの付着防止のため、すみやかにバック
カバーを取り付けてください。

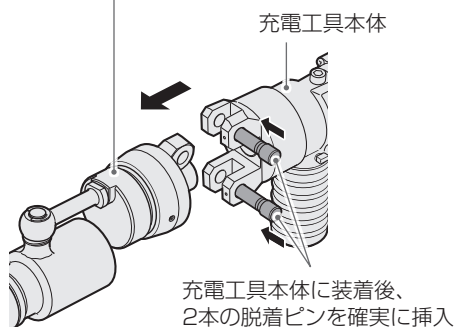


使
い
か
た

打ち抜き作業方法

- 1** 鋼板にセットした本製品を、充電工具本体に装着し、脱着ピンを確実に挿入する

ボルト、スリーブ、パンチカッターを取り付け鋼板にセットした本製品



充電工具本体に装着後、2本の脱着ピンを確実に挿入

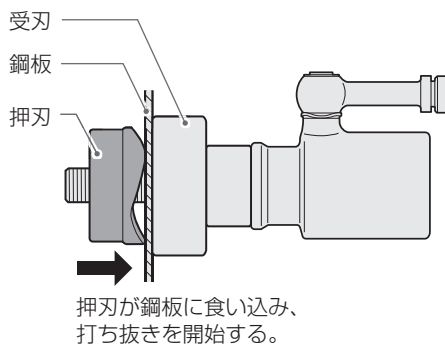
⚠ 危険

- 脱着ピンは確実に挿入する。守らないと破損などによりけがをすることがあります。

- 2** 作業のしやすい位置に充電工具本体のヘッド等を回転させ調整後、打ち抜き部を再度確認し、異常がなければ充電工具本体のスイッチを引き込む

- ラムシリンダーに取り付けられたボルトと押刃が引き込み、鋼板に食い込んでいき、打ち抜きを開始します。作業中は打ち抜き部から目を離さないようにしてください。

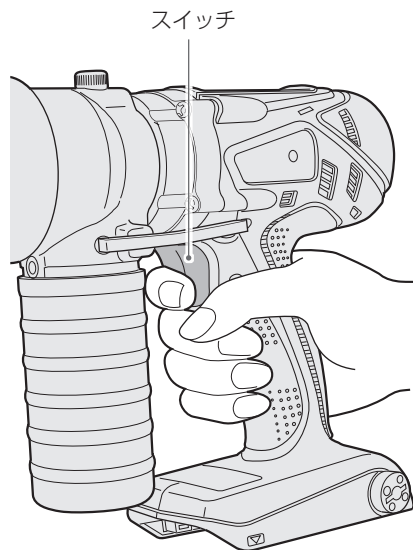
● 本製品側



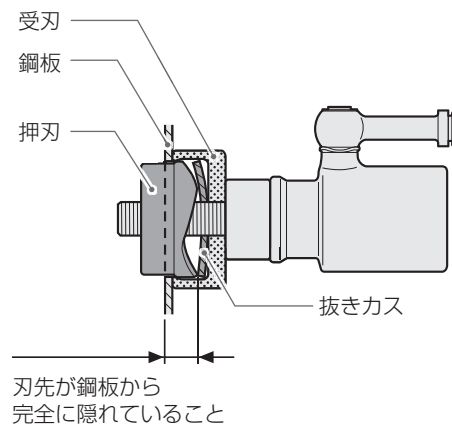
⚠ 注意

- 打ち抜き作業中は、打ち抜き部より目を離さないようにする。守らないと破損などによりけがをすることがあります。

● 充電工具本体側



- 3** 刃先が鋼板を貫通しパチンという音が鳴り、押刃の刃先が完全に隠れると打ち抜き完了
- すぐにスイッチをはなしてください。



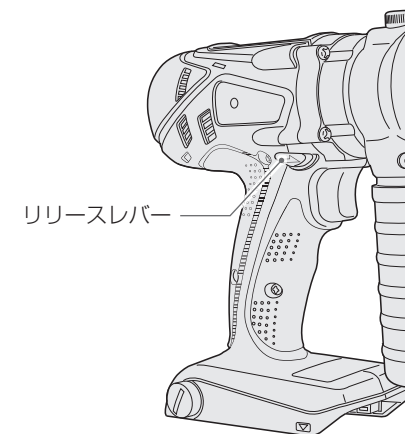
⚠ 危険

- 作業中は人に向けたり、顔や手をパンチカッターに近づけたりしない。パンチカッターやボルトが破損し、けがをすることがあります。

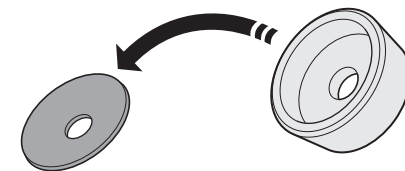
⚠ 注意

- 打ち抜き完了後はすぐにスイッチをはなす。守らないとけがをすることがあります。

- 4** 充電工具本体のリリースレバーを押して、リリースする
- 押刃が元の位置に戻ります。



- 5** 打ち抜いた鋼板、押刃、受刃の順に取りはずし、受刃の中の抜きカスを除去する



⚠ 警告

- 抜きカスは素手で触れない。
- 抜きカスは必ず1回ごとに除去し、抜きカスが残ったまま次の打ち抜きは行わない。けがをすることがあります。

作業量

1回のフル充電による使用能力(EZ9L54、EZ9L48使用時／周囲温度20℃)

●数値は目安です。電池パック性能の経時変化、電線・端子・スリーブの種類により、多少変動します。

種類	DC18 V 5.0 Ah (EZ9L54使用時)	DC14.4 V 5.0 Ah (EZ9L48使用時)
薄鋼電線管用パンチカッター-63 ステンレス板 厚さ1.5 mm	約310本	約280本
厚鋼電線管用パンチカッター-36 ステンレス板 厚さ1.5 mm	約390本	約340本
厚鋼電線管用パンチカッター-82 軟鋼 厚さ3.2 mm	約130本	約110本

適応用途

呼び径	薄鋼電線管用 15~75(mm)
	厚鋼電線管用 16~104(mm)

仕様

出力	78 kN(8 tonf)
ラムシリンダーストローク	25 mm
最大打ち抜き能力	鉄板 SS400相当: 3.2 mm 以下 ステンレス板 SUS304相当: 1.5 mm以下
大きさ(概略寸法)	全長189×全高89×全幅68(mm)
質量(重量)	2.5 kg

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/>

 **使い方・お手入れなどのご相談** 【受付時間】 365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

フリーダイヤル パナは ナットク  **0120-878-709** ■ 左記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6906-1109**

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■ FAX フリーダイヤル **0120-872-460**

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ライフソリューションズ 修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

 **修理に関するご相談** 【受付時間】 月~土/9:00~19:00
日・祝日・年末年始/9:00~18:00

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

フリーダイヤル パナニ イコー  **0120-872-150** ■ 左記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6906-1090**

- ※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2019